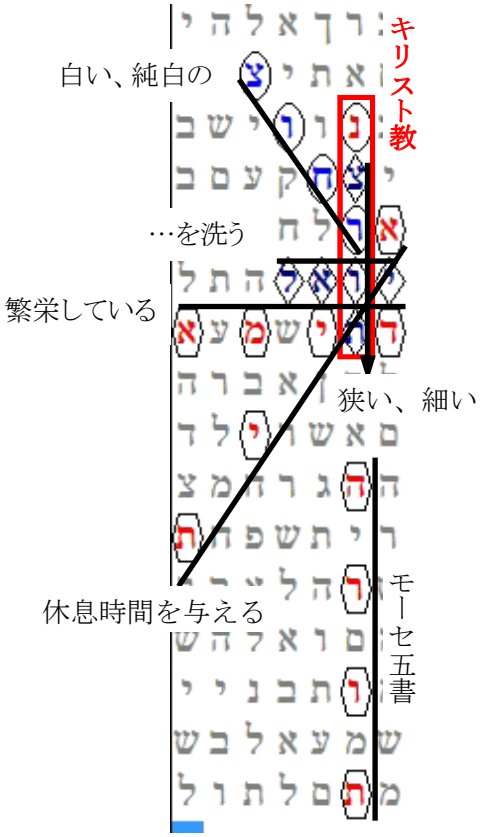
コラム：“キリスト教”を検索していて気づいたこと…キリスト教の綴り自体が「狭い、細い、やっとの、かろうじての」意味を内包していた。

キリスト教Christianityは נצרות です。



Verse	Chapter	Book		Letter	Skip
11	25	Genesis	בראשית	נ	7
11	25	Genesis	בראשית	צ	7
11	25	Genesis	בראשית	ר	7
12	25	Genesis	בראשית	ו	7
12	25	Genesis	בראשית	ת	7

スキップ数7文字の小さなマトリックスですが、ちょっと考えさせられました。

やはり、キリスト教に関連した語句が出てきます。

敢えて、誤解を覚悟で言いますが「マトリックス描画は諸刃の剣」と思っています。

この小さなマトリックスでも、何千という単語が隠されているのです。

その中から、基準を持って抽出という作業をするのは検索者自身です。

いつも、相当な信仰のチャレンジを受けます。

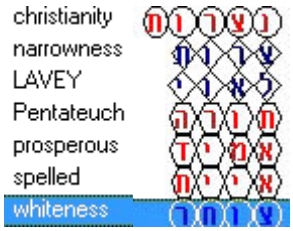
自分の信仰が、検索の度に問われるのです。

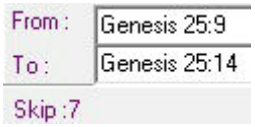
神ご自身からいただく、強靭な信仰以外に頼ることができません。

マトリックスは検索者が、思うとおりに描けてしまう絵画のようなものです。

心が濁っていれば、濁ったマトリックスになります。

（私の検索方法の場合ですが。）





Narrowness　狭い、細い、やっとの、かろうじての
LAVE　…を洗う、浸す、洗い、洗盤・洗礼盤、洗礼水
Pentateuch　〔聖〕モーセの五書
Prosperous　繁栄している、繁盛している、順調な
Whiteness　白い、純白の、悪意のない、善意の
spelled　しばらくの間、休息時間、休息時間を与える

キリスト教の綴り自体が「Narrowness　狭い、細い、やっとの、かろうじての」意味を内包している。

נצרות　キリスト教

狭い、細い、やっとの、かろうじての

●聖書の表面テキストとの交差箇所

25:11 アブラハムの死後、神は彼の子**イサク**を祝福された。イサクはベエル・ラハイ・ロイの近くに住みついた。 25:12 これはサラの女奴隷エジプト人ハガルがアブラハムに産んだアブラハムの子イシュマエルの歴史である。（**“キリスト教”は“イサク”と交差**）

●検索者の解説

解説は不要と思いますが、一応。

「キリスト教」と交差、または近接する形で、関連語句がありました。

（※私の関連語の抽出基準は、“非常に近接している”“水平交差”“直角交差”“抽出語が検索スキップ数の整数倍”などです。）

キリスト教は「細く、狭く、やっと救いに入れる」もので、「真の休息」や「人生の繁栄（現世利益ではなく）」を得られる。自分の衣を（キリストの血で）「善意の白い衣」にしていただくものです。

※「永遠の命をもらうなんてチョロい！」と考えているクリスチャンの皆さん、そんなに甘いものではないようですよ。「キリスト教の救いは狭い」とヘブル語が語ってますから。

…私は、警告しましたよ。

2014/02/02 Stefan